

平成27年度の 地域密着型金融の取組み状況

目次

1. 地域密着型金融の取組みの概況について …………… 1
2. 具体的な取組み内容について …………… 1
 - (1) 顧客企業に対する
コンサルティング機能の発揮 …………… 1
 - (2) 地域の面的再生への積極的な参画 …………… 8
 - (3) 地域や利用者に対する積極的な情報発信 …………… 10

1. 地域密着型金融の取組みの概況について

現在、政府は人口減少社会における地域社会活性化施策として「地方創生」を推進しており、これが地域金融機関の果たすべき役割と重なることから、地域金融機関の「地域経済・社会活性化の取組み」には大きな期待が寄せられています。

こうした状況の中、当金庫は平成27年度も「顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮」、「地域の面的再生への積極的な参画」、「地域や利用者に対する積極的な情報発信」を地域密着型金融の柱として、営業店と本部が一体となってお客さまのニーズに応じた取組みに一層注力しました。

2. 具体的な取組み内容について

(1) 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

1-1 ライフステージ等に応じた取引先企業への支援

● 地方創生に向けた取組み

営業支援サポートチーム新設

営業推進第一部の事業融資開拓チーム・創出支援チーム、および審査部事業支援課の一部を統合し営業支援サポートチームを平成28年1月に新設しました。

《営業支援サポートチームの構成》

営業支援チーム ⇒ 取引先企業のライフステージ全てを通じて営業店の行う経営支援活動（創業支援から再生支援まで）をサポート

後方支援チーム ⇒ 創業支援、M&A、IPO支援、ビジネスマッチング等に伴う後方事務

地方自治体との連携

セミナー開催やネットワーク加盟により地方自治体との連携を強固なものとしています。
「地方創生支援セミナー」

平成27年8月に自治体職員の方々にご参加いただき同セミナーを開催しました。
(参加者:28自治体・63名)

「関西自治体地方創生ネットワーク」

平成27年12月に近畿2府5県の144自治体・75支援協力機関が加盟するしごとづくり・産業振興支援ネットワークに加盟しました。

● 創業・新事業開拓を目指す企業への支援

ファンドへの出資を通じた創業支援

京都市スタートアップ支援投資事業有限責任組合を核とした創業・第二創業、ベンチャー企業支援に係る事業連携協定を平成28年3月に京都市等6者間で締結しました。同ファンドに出資する当金庫を含むALL京都ハンズオンパートナーが連携し創業間もない企業の発掘・育成を行います。
※第二創業：既に事業を営んでいる事業者が業態転換や新事業・新分野への進出を行うこと。

創業支援融資

当金庫プロパーでの取組みに併せて日本政策金融公庫や営業地区の各信用保証協会と連携融資体制を構築し創業融資による支援を行っています。

平成27年度実績	新規実行件数	新規実行金額
創業・第二創業支援融資	347件	10,731百万円
下記商品・制度融資以外	302件	10,496百万円
京都中信 創業スタートダッシュ	11件	44百万円
スタートダッシュ・ツイン	12件	58百万円
開業・経営承継支援資金	22件	133百万円

医療系開業支援

医療系に特化した税理士・医療系企業との連携による開業支援を行い、一般社団法人京都府医師会・特例社団法人京都府歯科医師会・京都府歯科保険医協会・特例社団法人京都府歯科技工師会、滋賀県医師協同組合等と連携した制度融資による支援を行っています。

医師会名	制度融資による支援の件数 および金額		うち開業支援	
	件数	金額	件数	金額
京都府医師会等	21件	624百万円	12件	530百万円
滋賀県医師協同組合	4件	39百万円	0件	0百万円
合計	25件	663百万円	0件	0百万円

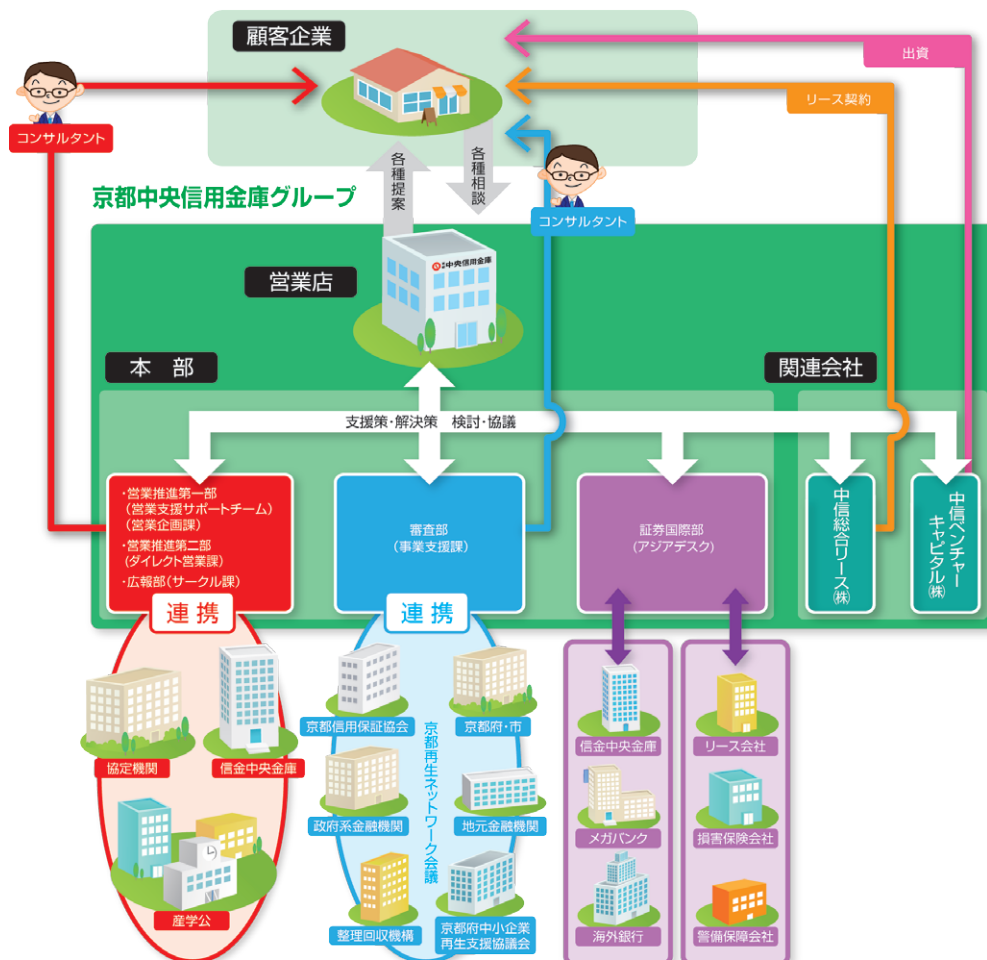
認定経営革新等支援機関としての創業・新事業支援

認定経営革新等支援機関として創業補助金申請に対する助言対応等の支援を行っています。

	創業	第二創業	合計
申請件数	18件	4件	22件
採択件数	12件	1件	13件
採択率	66.67%	25.00%	59.09%

● 成長段階における更なる飛躍が見込まれる企業への支援

中小企業の経営支援に関する態勢組織図



『中信ビジネスフェア2015』

当金庫主催の京都府下最大級の異業種交流複合イベントを開催しました。

出展数：277企業・団体
来場者数：9,500名（過去最多）
ビジネスマッチング：成約167件



「創出支援セミナー」

「経営者のための戦略的M&A活用法」や「小説『下町ロケット』に学ぶ中小企業の知財経営戦略」など3本のセミナーを開催しました。

参加者：181名



「海外進出・海外業務相談」

「海外バイヤーマッチング」

中国系バイヤーを招聘し取引先30社に対して41商談を実施しました。

「中国インバウンドセミナー」

参加者：66名

「中信ビジネスフェア2015」（平成27年10月14日・15日開催）では、新たな取組みとしてのバイヤーマッチング（食のバイヤーマッチング、知財マッチング、海外ビジネスマッチング）と出展企業のビジネスマッチングを開催し、825件の商談のうち167件が成約となりました。

中信学生デザインコンテスト

“京風”をテーマとしたパッケージデザイン

商談件数：4件 7作品

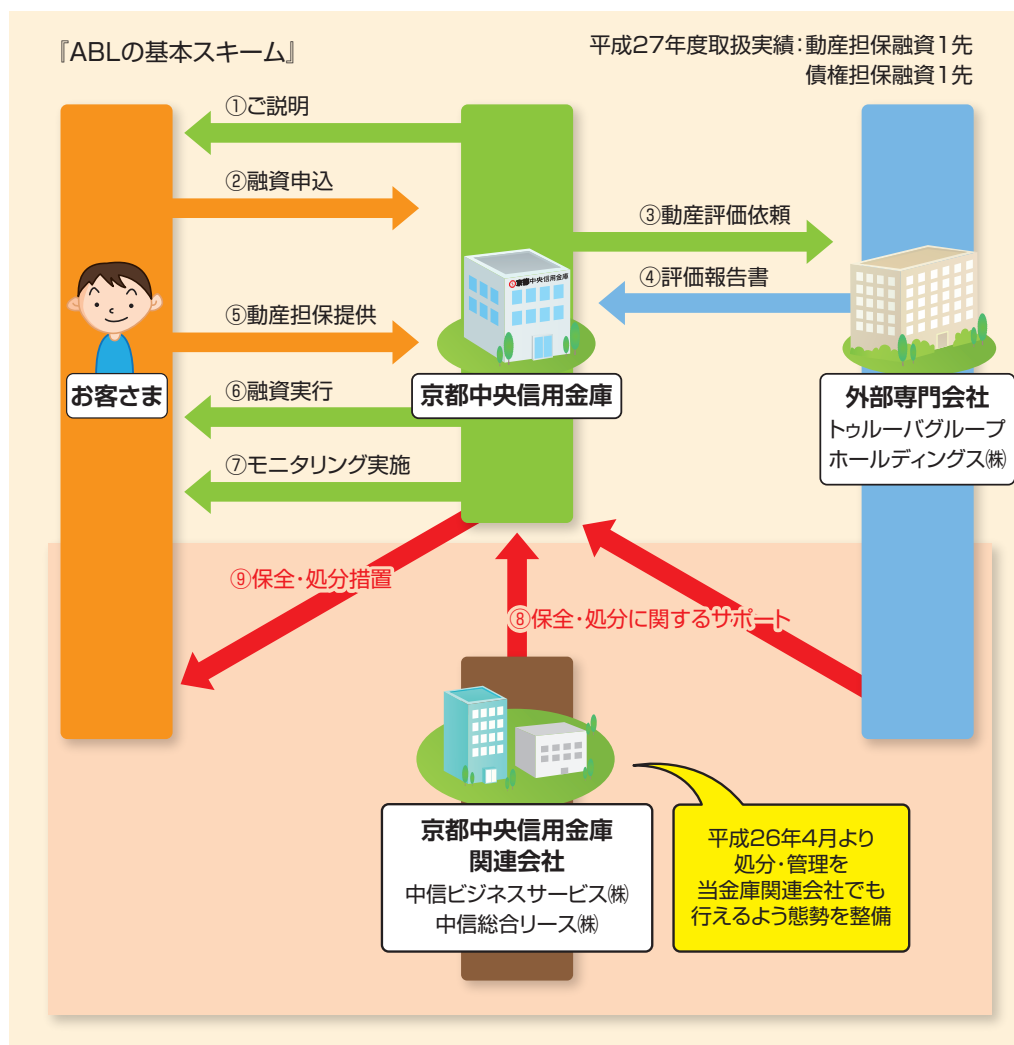
出品数：16大学・1専門学校 99作品



『中信ビジネスフェア2015』の一環として実施した、当金庫の営業エリア内の大学等からアイデアを募ったコンテスト。学生の斬新・創造的なデザインを発掘し、産学連携を通じてビジネスマッチングの機会を提供することで、地元中小企業の発展に寄与しました。

ABLの導入及び活用

従来の保証協会保証によるABL（動産・債権担保融資）に加えて、当金庫としても動産担保融資（平成25年2月～）と債権担保融資（同年6月～）の取扱いを開始しています。
お客さまの資金需要に対し新たな調達手段として積極活用を行っています。



ビジネスマッチングによるネットワークの活用

①大阪府商工労働部主催「ものづくりB2Bネットワーク」

大阪の元気なものづくり企業を紹介するために民間と行政が連携して運営するネットワークで、当金庫も参画し平成27年度は当金庫取引先へ86社の紹介を行いました。

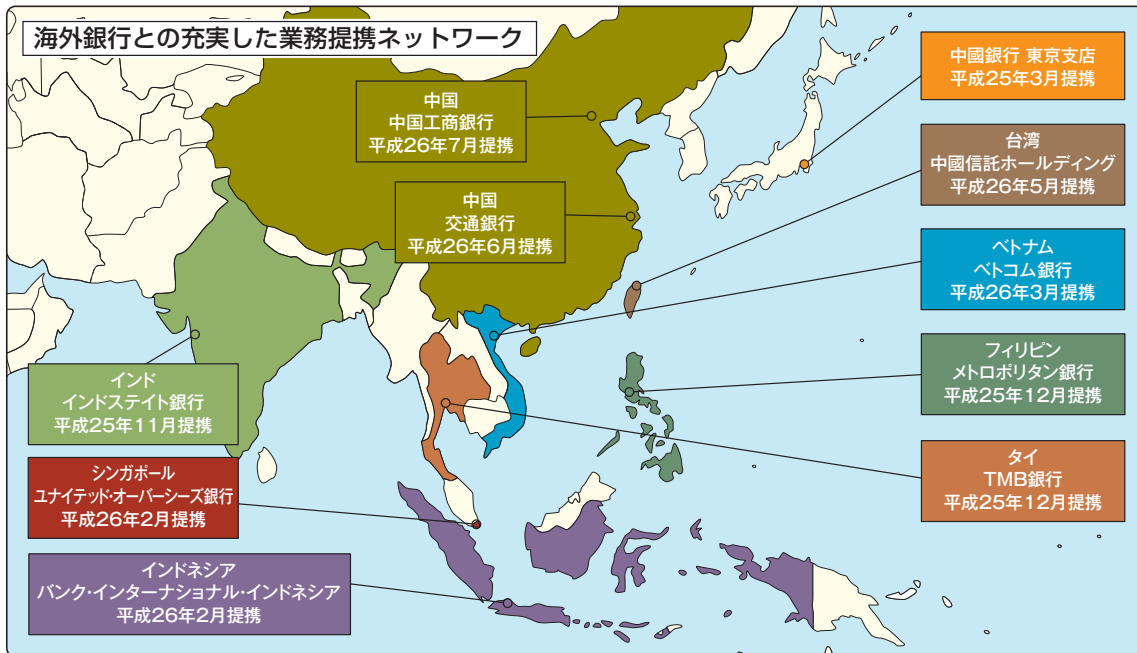
②信金中央金庫連携ネットワークビジネスマッチング

信金中央金庫が主催する全国の信用金庫向けの優待カタログへの掲載は6社が応募し3社が成約となりました。

③「知財ビジネスマッチング事業」(近畿経済産業局)と「小さな卓越企業発掘&育成プログラム」(中小企業基盤整備機構)

近畿経済産業局のスキームである「知財マッチングビジネス事業」と中小企業基盤整備機構近畿本部のスキーム「小さな卓越企業発掘&育成プログラム」を活用することで企業連携を行っています。次世代技術ウルトラファインバブル発生機の製造販売を進める企業の技術の利用用途拡大を図るために当金庫取引先を紹介し中小企業連携クラスターを組成しました。

海外進出支援



支援内容	平成27年度 実績
海外進出サポート	102社
当金庫提携先（海外銀行、日本貿易保険等）への紹介	12社

全国の金融機関で初めてインドステイト銀行との業務提携に基づくスタンバイL/Cを発行し、取引先のインド現地法人の現地通貨建て資金調達を支援しました。

業務提携を締結している海外銀行（アジア圏8カ国・10行）と協調し、海外現地での金融サービス提供の他、取引先と海外企業とのビジネスマッチングなど販路拡大支援に取り組みました。

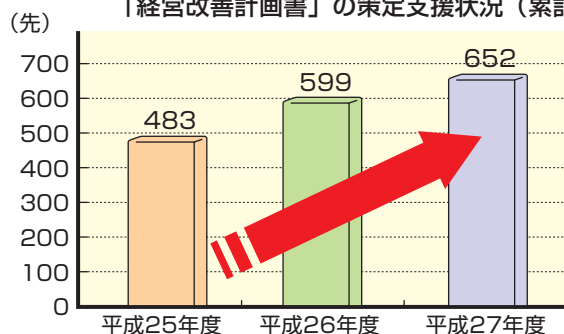
「海外バイヤーマッチング」「中国インバウンドセミナー」「ちゅうしん・ハラルビジネスセミナー」を新たに開催し、多様化する各種海外ニーズに対応しました。

また、国際的に通用する人材を育成するため、平成27年度は職員2名を海外に派遣しました。

● 経営改善が必要な企業への支援

経営改善支援先への積極的な取組み

「経営改善計画書」の策定支援状況（累計）



計画書書式ダウンロード

<http://www.chushin.co.jp/kariru/dl.htm>

平成27年度は912先を重点管理する経営改善支援先として支援に取り組んでいます。経営改善計画書の策定支援や経営計画のモニタリング、また経営改善に向けた助言・指導を行うなど経営改善をサポートしています。

金融円滑化への積極的な取組み

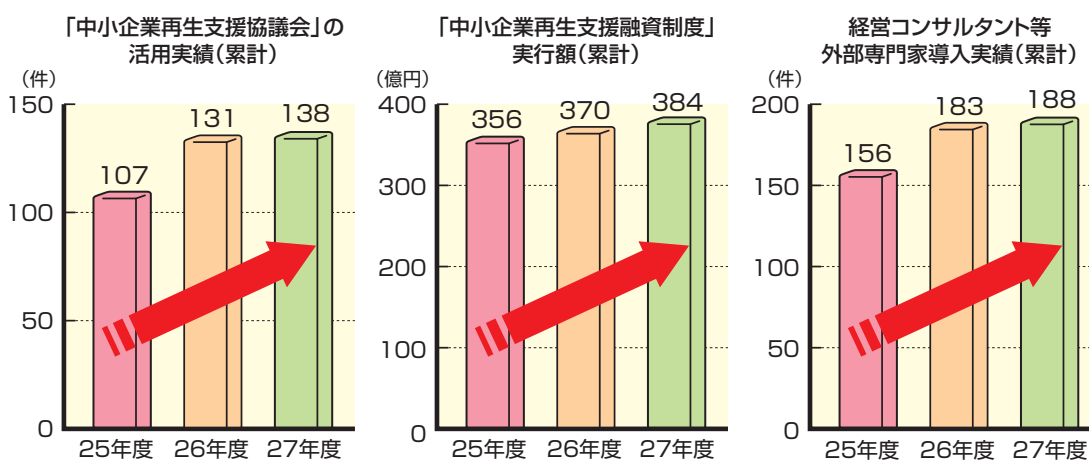
「中小企業金融円滑化法」の趣旨を十分に理解し、中小企業者に対する金融の円滑化、資金調達余力確保のために、政府や信用保証協会の制度等を積極的に活用し、スピーディーな対応に努めました。

平成25年3月末に同法の期限は到来していますが、その後も当金庫の対応方針は何ら変わりなく、お客さまからのお借入に関するご相談、お申込みについて真摯な対応に努めております。

平成27年度 条件変更等の実行件数	
中小企業者	9,501件
住宅資金借入者	1,679件

● 事業再生や業種転換が必要な企業への支援

抜本的な経営改善を必要とする取引先企業の早期事業再生のため、「京都再生ネットワーク会議」の機能を十分活用し、中小企業再生支援協議会や信用保証協会などの外部機関や他の金融機関との連携、また経営コンサルタントや公認会計士、税理士などの外部専門家との連携に努め、各種企業再生スキーム等により事業再生支援に取り組んでおります。



事業再生支援取組事例

当金庫取引先のA社(製造業)は、受注量減少から資金繰りが難しくなり、取引先金融機関への返済も困難な状況下にありました。メインバンクである当金庫は、経営改善を図るべく経営者に働きかけ、認定支援機関である顧問税理士と共に経営改善支援センター事業による費用補助を申請しました。その後、企業実態の把握と経営改善に向けた計画書の作成に着手し、A社・顧問税理士・当金庫が三位一体となって企業が改善できるアクションプランを何度も練り直しました。A社としても、経営者が筆頭となって様々なリストラ策を敢行し生き残りへの道筋を示す中で、信用保証協会や他金融機関との連携強化を図り、取引金融機関が協調した長期にわたる返済計画の組み替えを行うことができました。現在は、経営改善計画で策定したアクションプランに基づき再スタートを切っています。

「経営改善支援センター」への利用申請持込み実績累計：253先

● 事業承継が必要な企業への支援

営業店と本部が連携体制を構築し、事業承継や後継者問題を抱える取引先企業に対してコンサルティング提携会社の紹介を行っています。また平成26年度に引き続き、職員に対してM&Aに関する資格の取得を推奨し、職員のスキルアップを図ることで支援体制を強化しました。

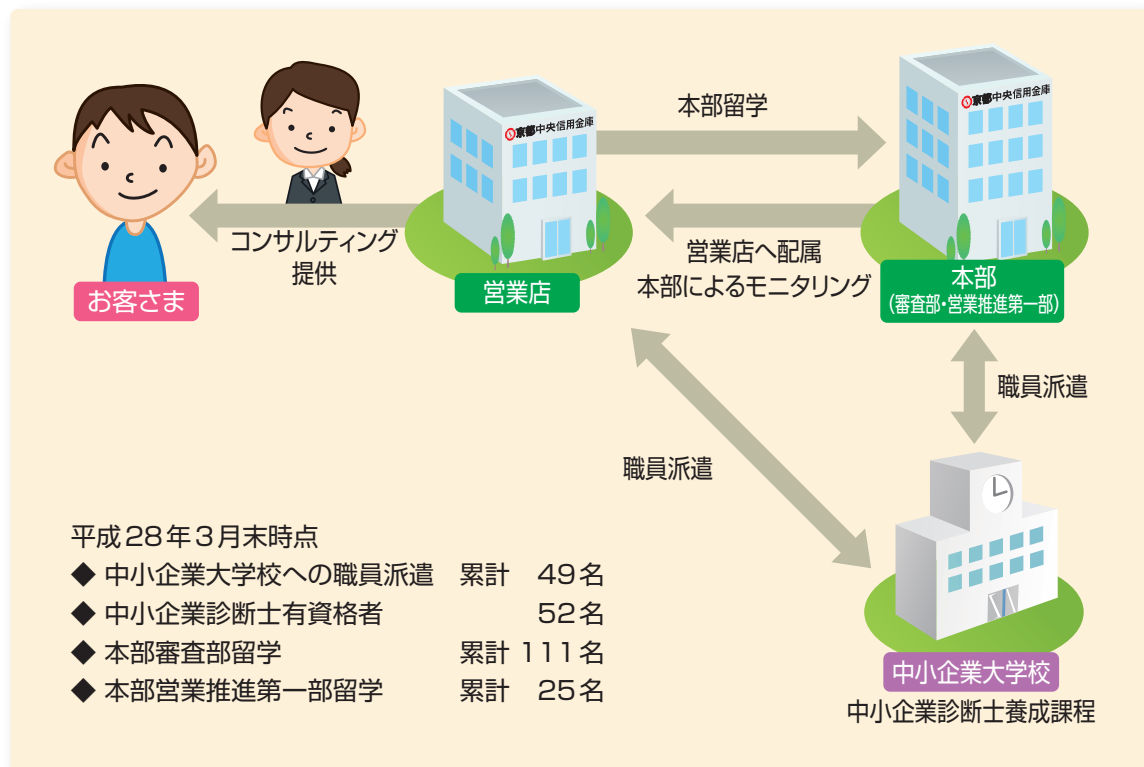
平成27年度の案件数：12件（譲渡4件・買収8件）

M&A資格合格者(平成28年3月31日現在)

資格名	合格者数
M&Aスペシャリスト	2名
M&Aシニアエキスパート	1名
事業承継・M&Aエキスパート	258名

1-2 コンサルティング機能の強化

本部留学制度等による目利き能力向上



コンサルティング機能を強化するため、営業店職員が本部（審査部・営業推進第一部）へ留学し、融資案件審査やお客さまへの訪問を通じて「目利き能力」の向上に努めています。本部留学期間終了後は、営業店職員としてコンサルティング能力を発揮し、お客さまを支援しています。また、本部留学制度の実効性を高めるため、営業店での業務上の課題や目標等活動状況を本部がモニタリングしています。

その他にも、外部研修への職員派遣や内部研修・勉強会の開催によって目利き能力や融資能力・企業分析力の向上に努めています。

(2) 地域の面的再生への積極的な参画

● 地域への適切なコミットメント

地域の人材育成・文化発展・金融知識普及



公益財団法人中信育英会



インターンシップ



中信杯全京都学童軟式野球選手権大会



中信美術館



京都美術文化賞贈呈式



中信味覚の会

人材育成

「公益財団法人 中信育英会」による奨学援護（延べ649名）やインターンシップ実習生としての大学生（平成27年度40名）の受入れ、スポーツを通じた小学生の育成など、地域の人材育成に協力しています。金融業務だけでなく、当金庫の社会貢献の姿勢についても理解を深めてもらい、次世代を担う人材の育成に取り組んでいます。

文化発展

「中信美術館」への来場者数は延べ103,384人（平成28年3月31日時点）となり多くの方々に美術文化に親しんでいただいています。公益財団法人中信美術奨励基金からは毎年「京都美術文化賞」を芸術家3名に贈呈、受賞記念展を開催しています。また、「中信味覚の会」による味の文化に触れるサークル活動、「中信宵山狂言会」の開催による伝統芸能・狂言の普及など、歴史と伝統ある京都の地域文化、美術文化の発展に寄与しています。

金融知識普及

生涯学習の一環として地域の小学校からの営業現場見学の受入れや、大学の「業界研究セミナー」への講師派遣などを通じて地域へ金融知識を普及する活動を行っています。また、「京都市スチューデントシティ・ファイナンスパーク」に模擬店舗を継続して出店しており、平成27年度はファイナンスパーク体験学習会を74回（59校 5,867人）開催し、子どもたちの経済活動の学習に協力しています。

環境経営への取組み

環境に配慮した商品等の開発・提供、環境配慮型店舗づくり、省エネルギー・省資源化などの環境保全活動に積極的に取組み、地域社会の持続的発展に貢献していきます。

京-VER購入による京都府内の環境活動推進

京都独自のCO₂排出量クレジット(京-VER)を累計100t-CO₂取得、平成27年度は中信美術館の運営や当金庫主催の各種イベント開催で発生するCO₂を京-VERによりカーボンオフセットしています。

<京-VERは中小企業や地域コミュニティの省エネ活動により創出されています。京-VERを購入することにより京都府全体の温室効果ガスの削減に寄与することを目的としています。>



環境関連金融商品の開発・提供

京都中信「びわこマイカーローン」

自動車等の購入資金等を融資し、支払われた利息の一部を「マザーレイク滋賀応援基金」に寄付する商品です。

平成27年度 新規実行実績1,488件 3,045百万円

ちゅうしんエコ定期預金「芝生スクール応援定期預金-2016-」

京都市が進めている公立学校の校庭芝生化を支援している認定NPO法人「芝生スクール京都」に寄付をすることを目的とした定期預金を新たに販売しました。

販売期間：平成28年1月～2月

販売件数：4,037件 預入総額 5,152百万円



地域清掃活動・省資源化活動

- ・当金庫独自の取組みとして「ゴミゼロの日」ボランティア清掃活動を各営業店周辺で実施しています。
- ・「琵琶湖を美しくする運動」をはじめとする地域の清掃活動に参加しています。
- ・女性職員のユニフォームにはペットボトルを再利用した素材を使用し、使用済ユニフォームは回収後リユースやリサイクル処理しています。
- ・本支店から出る不要な書類、紙ゴミを回収してトイレットペーパー等々にリサイクルを実施(粗品や当金庫内の消耗品として使用)しています。
- ・本店ビルにおいてカン、ビン、ペットボトル、プラスチック、雑紙等の分別廃棄を徹底しています。



省エネパフォーマンス・環境配慮型店舗

ISO14001認証を取得している本店ビルの電気使用量は5年連続で平成20年度比20%以上削減できています。

	年度間電気使用量	削減率
H20年度	2,343千kWh	—
H25年度	1,729千kWh	▲26.1%
H26年度	1,696千kWh	▲27.6%
H27年度	1,664千kWh	▲28.9%

平成27年度に新築移転した小倉支店は太陽光発電システム、全館LED照明等の設備を導入しました。



(3) 地域や利用者に対する積極的な情報発信

● 地域の活性化につながる多様なサービスの提供

地域経済への多様な情報提供

中信経済講演会

企業経営者を対象に「中信経済講演会」を開催し、景気動向や経済分析・見通しなど地域経済活性化のヒントとなる情報を提供しています。

《3回開催 来場者総数614名》



中信サクセスセミナー

中小企業の事業拡大・経営改善の支援を目的として、経営相談を行っている地元の中小企業診断士による経営セミナーを開催。中小企業の経営者自らの経営目標や課題の実現・解決を支援しています。

《6回開催 参加者総数253名》



年金・相続相談業務

年金や相続に関する疑問解消の為にフリーダイヤルや、テレビ電話による相談業務を随時行っています。

《フリーダイヤル》

年金相談件数 207件

相続相談件数 280件

《テレビ電話》

年金相談件数 6件

相続相談件数 442件

中信ビジネス情報誌『ANONA』

中信ビジネス情報誌『ANONA(あのな)』を発行し、地元企業の景気動向調査の結果を提供しています。

《平成27年度 4回発行》



● 地域密着型金融の取組みの発信

ホームページやディスクロージャー誌を活用した情報提供

ホームページやディスクロージャー誌に、個人・法人・個人事業主のお客さまに向けた各種商品・サービス、CSRへの取組み（地域文化の育成と振興、環境問題に対する取組み、中小企業支援活動・社会福祉活動）の状況等を掲載しています。

また、金融円滑化や事業再生に対する経営改善への取組み等については、より具体的な取組状況や事例をホームページ上の「地域密着型金融の取組み状況」にて積極的に掲載しています。

